

# 2017年度 クラブ経営情報開示資料

2018年7月30日

公益社団法人日本プロサッカーリーグ  
クラブ経営戦略本部  
クラブライセンス事務局

# 1 - 1. 主なトピックス

- (1) J 1・J 2・J 3 合計の事業規模は、Jリーグ史上**初めて1,000億円を突破**した純資産10億円を超えるクラブは昨年から2クラブ増加し8クラブとなった。
- (2) 2016年度と比較し、営業収益が約112億円増加  
(2011年度以降、7年連続で増加している)  
同時に営業費用も約112億円増加し、**拡大均衡で推移**
- (3) D A Z Nとの契約により、Jリーグ配分金が全体で約60億円増加しているが、クラブの**営業努力によるその他の営業収益も例年と同水準で増加**している  
主要営業収益項目の成長率は、**106%前後を維持**している
- (4) 2016年度に引き続き、J 1・J 2・J 3 全てのクラブで、**3期連続赤字、債務超過がゼロ**となった
- (5) 浦和レッズは、自身の持つ**Jリーグ史上最高営業収益を上回り**79.7億円を計上した

# 1 - 2. 営業収益・営業費用の推移

## • 経営が健全化され、拡大均衡で推移

- ① 営業収益の拡大 = 投資を可能にするための財源確保
- ② チーム人件費の増加 = 魅力あるフットボール・クラブづくり

### 【J1・J2・J3クラブの合計値の推移】

ライセンス制度導入前		ライセンス制度導入後					
	2011年度 (38クラブ)	2012年度 (40クラブ)	2013年度 (40クラブ)	2014年度 (51クラブ)	2015年度 (52クラブ)	2016年度 (53クラブ)	2017年度 (54クラブ)
<b>営業収益</b>	<b>728億円</b>	<b>773億円</b>	<b>793億円</b>	<b>868億円</b>	<b>937億円</b>	<b>994億円</b>	<b>1,106億円</b>
広告料収入	333億円	351億円	372億円	422億円	453億円	483億円	516億円
入場料収入	142億円	153億円	164億円	164億円	175億円	183億円	193億円
<b>営業費用</b>	<b>729億円</b>	<b>766億円</b>	<b>796億円</b>	<b>870億円</b>	<b>924億円</b>	<b>978億円</b>	<b>1,090億円</b>
チーム人件費	328億円	333億円	353億円	380億円	399億円	423億円	497億円

※2014年度よりJ3リーグが開幕

# 1 - 3. 3期連続赤字・債務超過クラブ (J1・J2)



- 2016年度に引き続き、3期連続赤字・債務超過のクラブはゼロ
- 赤字クラブは3クラブ増加、2クラブで2期連続赤字である

【2017年度のJ1・J2クラブの財務状況】

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	該当クラブ (2017年度)
単年度赤字	13	12	8	5	8	11	鹿島、新潟、G大阪、神戸、 水戸、千葉、横浜FC、湘南、 金沢※、京都※、山口
3期連続赤字	6	5	0	0	0	0	なし
債務超過	9	11	0	0	0	0	なし

※金沢、京都は2期連続赤字

# 1 - 4 . 3期連続赤字・債務超過クラブ ( J 3 )

- 2016年度に引き続き、3期連続赤字・債務超過のクラブはゼロ
- 赤字クラブは2クラブ減少、2クラブで2期連続赤字である

## 【2017年度の J 3 クラブの財務状況】

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	該当クラブ (2017年度)
単年度赤字	5	5	2	5	3	YS横浜、鳥取※、琉球※
3期連続赤字	—	1	0	0	0	なし
債務超過	1	2	0	0	0	なし

【注】2013年度のクラブ数は、新入会クラブの所属リーグにおける財務数値を基準としている

※鳥取、琉球は2期連続赤字

# 2-1. 決算数値の概要： J1・J2・J3クラブ合計



- ・ J1・J2・J3合計で営業収益、営業費用ともに約112億円増加し拡大均衡となっている
- ・ 当期純利益は、合計で前年比約9百万円の増加、全体で黒字となっている

(百万円)

	J1合計			J2合計			J3合計			J1+J2+J3合計			
	2016年度 (18クラブ)	2017年度 (18クラブ)	前年比	2016年度 (22クラブ)	2017年度 (22クラブ)	前年比	2016年度 (13クラブ)	2017年度 (14クラブ)	前年比	2016年度 (53クラブ)	2017年度 (54クラブ)	前年比	
1 営業収益	65,522	73,479	+7,957	28,879	31,079	+2,200	4,994	6,004	+1,010	99,395	110,562	+11,167	★
2 広告料収入	30,605	32,635	+2,030	14,823	15,709	+886	2,904	3,210	+306	48,332	51,554	+3,222	
3 入場料収入	13,353	14,473	+1,120	4,488	4,401	▲87	500	445	▲55	18,341	19,319	+978	
4 Jリーグ配分金	4,042	8,533	+4,491	1,961	3,263	+1,302	222	478	+256	6,225	12,274	+6,049	★
5 アカデミー関連収入	2,921	2,878	▲43	1,319	1,430	+111	455	576	+121	4,695	4,884	+189	
6 物販収入	5,488	6,183	+695	2,166	2,112	▲54	213	314	+101	7,867	8,609	+742	
7 その他収入	9,113	8,777	▲336	4,120	4,162	+42	700	981	+281	13,933	13,920	▲13	
8 営業費用	63,422	72,780	+9,358	29,140	30,184	+1,044	5,273	6,063	+790	97,835	109,027	+11,192	★
9 チーム人件費	28,345	34,458	+6,113	12,223	13,278	+1,055	1,741	1,950	+209	42,309	49,686	+7,377	★
10 試合関連経費	5,485	6,253	+768	2,411	2,177	▲234	338	509	+171	8,234	8,939	+705	
11 トップチーム運営経費	5,579	6,085	+506	3,411	3,393	▲18	772	845	+73	9,762	10,323	+561	
12 アカデミー運営経費	2,039	2,156	+117	997	1,164	+167	297	328	+31	3,333	3,648	+315	
13 女子チーム運営経費	176	229	+53	135	139	+4	43	44	+1	354	412	+58	
14 物販関連費	3,989	4,435	+446	1,642	1,419	▲223	123	198	+75	5,754	6,052	+298	
15 販売費および一般管理費	17,808	19,164	+1,356	8,320	8,615	+295	1,959	2,189	+230	28,087	29,968	+1,881	
16 営業利益	2,100	700	▲1,400	▲260	895	+1,155	▲279	▲60	+219	1,561	1,535	▲26	
17 営業外収益	546	438	▲108	218	139	▲79	74	50	▲24	838	627	▲211	
18 営業外費用	447	139	▲308	85	122	+37	18	21	+3	550	282	▲268	
19 経常利益	2,199	999	▲1,200	▲128	911	+1,039	▲224	▲30	+194	1,847	1,880	+33	
20 特別利益	171	317	+146	210	2	▲208	28	24	▲4	409	343	▲66	
21 特別損失	8	112	+104	176	38	▲138	66	19	▲47	250	169	▲81	
22 税引前当期利益	2,362	1,204	▲1,158	▲96	876	+972	▲262	▲24	+238	2,004	2,056	+52	
23 法人税および住民税	621	551	▲70	154	263	+109	3	8	+5	778	822	+44	
24 当期純利益(損失)	1,741	653	▲1,088	▲250	615	+865	▲265	▲33	+232	1,226	1,235	+9	★

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値が一部一致しないところがある。

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

## 2-2. 決算数値の概要： J1・J2クラブ合計

- J1・J2合計で営業収益は前年比約102億円増加。同時に営業費用も約104億円増加
- 当期純利益は前年比約2億円減少したものの、全体では黒字となっている

(百万円)

	J1合計			J2合計			J1+J2合計			
	2016年度 (18クラブ)	2017年度 (18クラブ)	前年比	2016年度 (22クラブ)	2017年度 (22クラブ)	前年比	2016年度 (40クラブ)	2017年度 (40クラブ)	前年比	
1 営業収益	65,522	73,479	+7,957	28,879	31,079	+2,200	94,401	104,558	+10,157	★
2 広告料収入	30,605	32,635	+2,030	14,823	15,709	+886	45,428	48,344	+2,916	
3 入場料収入	13,353	14,473	+1,120	4,488	4,401	▲87	17,841	18,874	+1,033	
4 Jリーグ配分金	4,042	8,533	+4,491	1,961	3,263	+1,302	6,003	11,796	+5,793	★
5 アカデミー関連収入	2,921	2,878	▲43	1,319	1,430	+111	4,240	4,308	+68	
6 物販収入	5,488	6,183	+695	2,166	2,112	▲54	7,654	8,295	+641	
7 その他収入	9,113	8,777	▲336	4,120	4,162	+42	13,233	12,939	▲294	
8 営業費用	63,422	72,780	+9,358	29,140	30,184	+1,044	92,562	102,964	+10,402	★
9 チーム人件費	28,345	34,458	+6,113	12,223	13,278	+1,055	40,568	47,736	+7,168	★
10 試合関連経費	5,485	6,253	+768	2,411	2,177	▲234	7,896	8,430	+534	
11 トップチーム運営経費	5,579	6,085	+506	3,411	3,393	▲18	8,990	9,478	+488	
12 アカデミー運営経費	2,039	2,156	+117	997	1,164	+167	3,036	3,320	+284	
13 女子チーム運営経費	176	229	+53	135	139	+4	311	368	+57	
14 物販関連費	3,989	4,435	+446	1,642	1,419	▲223	5,631	5,854	+223	
15 販売費および一般管理費	17,808	19,164	+1,356	8,320	8,615	+295	26,128	27,779	+1,651	
16 営業利益	2,100	700	▲1,400	▲260	895	+1,155	1,840	1,595	▲245	
17 営業外収益	546	438	▲108	218	139	▲79	764	577	▲187	
18 営業外費用	447	139	▲308	85	122	+37	532	261	▲271	
19 経常利益	2,199	999	▲1,200	▲128	911	+1,039	2,071	1,910	▲161	
20 特別利益	171	317	+146	210	2	▲208	381	319	▲62	
21 特別損失	8	112	+104	176	38	▲138	184	150	▲34	
22 税引前当期利益	2,362	1,204	▲1,158	▲96	876	+972	2,266	2,080	▲186	
23 法人税および住民税	621	551	▲70	154	263	+109	775	814	+39	
24 当期純利益(損失)	1,741	653	▲1,088	▲250	615	+865	1,491	1,268	▲223	★

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値が一部一致しないところがある。

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

## 2-3. 決算数値の概要： J1・J2クラブ平均

- ・ 営業収益は、J1平均・J2平均の規模には約3倍の差がある
- ・ 収益構成を比較すると、J2平均は広告料収入の割合が大きい、費用構成には大差がない
- ・ 構成比では、J1・J2ともに、Jリーグ配分金比率とチーム人件費比率が増加している

	(百万円)										(百万円)		
	J1平均					J2平均					J1+J2平均		
	2016年度 (18クラブ)	構成比	2017年度 (18クラブ)	前年比	構成比	2016年度 (22クラブ)	構成比	2017年度 (22クラブ)	前年比	構成比	2016年度 (40クラブ)	2017年度 (40クラブ)	前年比
1 営業収益	3,640	100.0%	4,082	+442	100.0%	1,313	100.0%	1,413	+100	100.0%	2,360	2,614	+254
2 広告料収入	1,700	46.7%	1,813	+113	44.5%	674	51.3%	714	+40	50.5%	1,136	1,209	+73
3 入場料収入	742	20.4%	804	+62	19.7%	204	15.5%	200	▲4	14.2%	446	472	+26
4 Jリーグ配分金	225	6.2%	474	+250	11.6%	89	6.8%	148	+59	10.5%	150	295	+145
5 アカデミー関連収入	162	4.4%	160	▲2	3.9%	60	4.6%	65	+5	4.6%	106	108	+2
6 物販収入	305	8.4%	344	+39	8.4%	98	7.5%	96	▲2	6.8%	191	207	+16
7 その他収入	506	13.9%	488	▲19	11.9%	187	14.3%	189	+2	13.4%	331	323	▲7
8 営業費用	3,523	100.0%	4,043	+520	100.0%	1,325	100.0%	1,372	+47	100.0%	2,314	2,574	+260
9 チーム人件費	1,575	44.7%	1,914	+340	47.3%	556	41.9%	604	+48	44.0%	1,014	1,193	+179
10 試合関連経費	305	8.7%	347	+43	8.6%	110	8.3%	99	▲11	7.2%	197	211	+13
11 トップチーム運営経費	310	8.7%	338	+28	8.4%	155	11.7%	154	▲1	11.2%	225	237	+12
12 アカデミー運営経費	113	3.2%	120	+7	3.0%	45	3.4%	53	+8	3.9%	76	83	+7
13 女子チーム運営経費	10	0.3%	13	+3	0.3%	6	0.5%	6	+0	0.5%	8	9	+1
14 物販関連費	222	6.3%	246	+25	6.1%	75	5.6%	65	▲10	4.7%	141	146	+6
15 販売費および一般管理費	989	28.1%	1,065	+75	26.3%	378	28.6%	392	+13	28.5%	653	694	+41
16 営業利益	117	-	39	▲78	-	▲12	-	41	+53	-	46	40	▲6
17 営業外収益	30	-	24	▲6	-	10	-	6	▲4	-	19	14	▲5
18 営業外費用	25	-	8	▲17	-	4	-	6	+2	-	13	7	▲7
19 経常利益	122	-	56	▲67	-	▲6	-	41	+47	-	52	48	▲4
20 特別利益	10	-	18	+8	-	10	-	0	▲9	-	10	8	▲2
21 特別損失	0	-	6	+6	-	8	-	2	▲6	-	5	4	▲1
22 税引前当期利益	131	-	67	▲64	-	▲4	-	40	+44	-	57	52	▲5
23 法人税および住民税	34	-	31	▲4	-	7	-	12	+5	-	19	20	+1
24 当期純利益(損失)	97	-	36	▲61	-	▲11	-	28	+39	-	37	32	▲6

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値が一部一致しないところがある。

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。



## 2-4. 決算数値の概要： J3クラブ合計・平均

- 1クラブ当たりの営業収益は、前年比約45百万円増加となった
- 構成比は、J1・J2と比較してチーム人件費の割合が少ない

(百万円)

	J3合計			J3平均					
	2016年度 (13クラブ)	2017年度 (14クラブ)	前年比	2016年度 (13クラブ)	構成比	2017年度 (14クラブ)	前年比	構成比	
1 営業収益	4,994	6,004	+1,010	384	100.0%	429	+45	100.0%	★
2 広告料収入	2,904	3,210	+306	223	58.1%	229	+6	53.5%	
3 入場料収入	500	445	▲55	38	10.0%	32	▲7	7.4%	
4 Jリーグ配分金	222	478	+256	17	4.4%	34	+17	8.0%	
5 アカデミー関連収入	455	576	+121	35	9.1%	41	+6	9.6%	
6 物販収入	213	314	+101	16	4.3%	22	+6	5.2%	
7 その他収入	700	981	+281	54	14.1%	70	+16	16.3%	
8 営業費用	5,273	6,063	+790	406	100.0%	433	+27	100.0%	
9 チーム人件費	1,741	1,950	+209	134	33.0%	139	+5	32.2%	★
10 試合関連経費	338	509	+171	26	6.4%	36	+10	8.4%	
11 トップチーム運営経費	772	845	+73	59	14.7%	60	+1	13.9%	
12 アカデミー運営経費	297	328	+31	23	5.6%	23	+1	5.4%	
13 女子チーム運営経費	43	44	+1	3	0.8%	3	0	0.7%	
14 物販関連費	123	198	+75	9	2.3%	14	+5	3.3%	
15 販売費および一般管理費	1,959	2,189	+230	151	37.2%	156	+6	36.1%	
16 営業利益	▲279	▲60	+219	▲21	-	▲4	+17	-	
17 営業外収益	74	50	▲24	6	-	4	▲2	-	
18 営業外費用	18	21	+3	1	-	2	0	-	
19 経常利益	▲224	▲30	+194	▲17	-	▲2	+15	-	
20 特別利益	28	24	▲4	2	-	2	0	-	
21 特別損失	66	19	▲47	5	-	1	▲4	-	
22 税引前当期利益	▲262	▲24	+238	▲20	-	▲2	+18	-	
23 法人税および住民税	3	8	+5	0	-	1	0	-	
24 当期純利益(損失)	▲265	▲33	+232	▲20	-	▲2	+18	-	

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値が一部一致しないところがある。

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

## 2 - 5. 決算数値の概要：成長率比較

- 全体の営業収益成長率は、111.2%となった。
- 内訳として、Jリーグ配分金の増加が大きく貢献している。その他の主要営業収益項目（広告料収入・入場料収入）についても、前年より1クラブ増加（沼津）の要因はあるものの一定の成長率を維持している。

単位：百万円

	2014年度				2015年度			2016年度			2017年度	
	2014年度	2015年度	増減	成長率	2016年度	増減	成長率	2017年度	増減	成長率		
営業収益	86,848	93,722	6,874	107.9%	99,395	5,673	106.1%	110,562	11,167	111.2%	★	
内広告料収入	42,199	45,343	3,144	107.4%	48,332	2,989	106.6%	51,554	3,222	106.7%		
内入場料収入	16,446	17,518	1,072	106.5%	18,341	823	104.7%	19,319	978	105.3%		
内Jリーグ配分金	6,156	5,898	▲258	95.8%	6,225	327	105.5%	12,274	6,049	197.2%	★	
営業収益 (除くJリーグ配分金)	80,692	87,824	7,132	108.8%	93,170	5,346	106.1%	98,288	5,118	105.5%		

# 3-1. 営業収益（売上高）の推移

**2017-2016年度比較（53クラブ※沼津を除く）増収46クラブ、減収7クラブ**  
**3月決算クラブの全てのクラブが増収となった**  
**J3全てのクラブが増収となった**

【J1】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 札幌	1,420	1,902	2,676	+774
2 仙台	2,239	2,285	2,709	+424
3 鹿島	4,311	5,582	5,228	▲354
4 浦和	6,088	6,606	7,971	+1,365
5 大宮	3,005	3,203	3,685	+482
6 柏	3,019	2,874	3,454	+580
7 FC東京	4,678	4,541	4,588	+47
8 川崎F	4,077	4,254	5,123	+869
9 横浜FM	4,567	4,696	4,765	+69
10 甲府	1,525	1,523	1,727	+204
11 新潟	2,510	2,908	2,762	▲146
12 清水	3,142	3,341	4,010	+669
13 磐田	2,996	3,303	3,828	+525
14 G大阪	4,282	5,146	4,966	▲180
15 C大阪	2,712	3,008	3,976	+968
16 神戸	3,663	3,865	5,237	+1,372
17 広島	3,610	3,794	3,424	▲370
18 鳥栖	2,489	2,766	3,350	+584
合計	60,333	65,597	73,479	+7,882

総合計

93,722	99,395	110,201	+10,806
--------	--------	---------	---------

【J2】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 山形	1,813	1,497	1,576	+79
2 水戸	561	589	578	▲11
3 群馬	548	522	624	+102
4 千葉	2,504	2,556	2,593	+37
5 東京V	1,311	1,391	1,622	+231
6 町田	443	626	709	+83
7 横浜FC	1,002	1,064	1,244	+180
8 湘南	1,561	1,627	1,566	▲61
9 松本	2,149	1,935	1,991	+56
10 金沢	584	612	656	+44
11 名古屋	4,446	4,713	4,594	▲119
12 岐阜	999	932	951	+19
13 京都	1,897	1,743	1,857	+114
14 岡山	1,174	1,271	1,433	+162
15 山口	384	880	1,019	+139
16 讃岐	575	613	696	+83
17 徳島	1,741	1,443	1,639	+196
18 愛媛	569	630	769	+139
19 福岡	1,654	1,836	1,979	+143
20 長崎	897	749	1,120	+371
21 熊本	756	720	840	+120
22 大分	958	797	1,023	+226
合計	28,526	28,746	31,079	+2,333

【J3】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 盛岡	200	142	281	+139
2 秋田	262	288	360	+72
3 福島	317	326	359	+33
4 栃木	936	639	658	+19
5 YS横浜	192	189	193	+4
6 相模原	224	263	282	+19
7 長野	597	687	702	+15
8 富山	531	515	539	+24
9 藤枝	140	165	210	+45
10 沼津	-	-	361	-
11 鳥取	426	412	458	+46
12 北九州	777	855	864	+9
13 鹿児島	-	377	496	+119
14 琉球	261	194	241	+47
合計	4,863	5,052	5,643	+591

- ※ J1・J2・J3の所属は、2017シーズンのものである。【凡例】  : J1所属  : J2所属  : J3所属
- ※ 長崎は2017年度の決算期変更に伴い、当事業年度は11ヶ月となっている。
- ※ J3合計および総合計には沼津は含まれていない。
- ※ 上表の★印は3月決算クラブ。

## 3-2. 広告料収入の推移

**2017-2016年度比較（53クラブ※沼津を除く）増収40クラブ、減収12クラブ**  
**前年比約31億円の広告料収入が増加**  
**3月決算クラブ全てのクラブで広告料収入が増加**

【J1】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 札幌	613	882	1,070	+188
2 仙台	909	908	1,183	+275
3 鹿島	1,861	1,958	1,917	▲41
4 浦和	2,549	2,593	3,193	+600
5 大宮	2,183	2,077	2,296	+219
6 柏	1,928	1,929	1,954	+25
7 FC東京	1,710	1,935	1,717	▲218
8 川崎F	1,569	1,809	1,854	+45
9 横浜FM	2,256	2,366	2,111	▲255
10 甲府	751	736	774	+38
11 新潟	1,038	1,049	1,085	+36
12 清水	1,417	1,767	1,797	+30
13 磐田	1,515	1,569	1,812	+243
14 G大阪	1,907	1,817	1,800	▲17
15 C大阪	1,505	1,738	1,600	▲138
16 神戸	2,198	2,221	3,352	+1,131
17 広島	1,469	1,620	1,546	▲74
18 鳥栖	1,203	1,631	1,574	▲57
合計	28,581	30,605	32,635	+2,030

総合計	45,343	48,332	51,388	+3,056
-----	--------	--------	--------	--------

【J2】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 山形	446	426	429	+3
2 水戸	190	199	195	▲4
3 群馬	290	266	267	+1
4 千葉	1,641	1,659	1,704	+45
5 東京V	564	667	779	+112
6 町田	250	299	343	+44
7 横浜FC	560	569	698	+129
8 湘南	573	681	795	+114
9 松本	923	889	953	+64
10 金沢	221	319	294	▲25
11 名古屋	2,775	3,088	2,856	▲232
12 岐阜	516	522	474	▲48
13 京都	1,133	1,122	1,129	+7
14 岡山	535	564	703	+139
15 山口	175	340	439	+99
16 讃岐	228	262	292	+30
17 徳島	1,098	991	1,103	+112
18 愛媛	251	280	302	+22
19 福岡	474	618	621	+3
20 長崎	440	359	539	+180
21 熊本	313	319	351	+32
22 大分	497	404	443	+39
合計	14,093	14,843	15,709	+866

【J3】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 盛岡	113	73	116	+43
2 秋田	154	184	198	+14
3 福島	217	230	237	+7
4 栃木	486	409	408	▲1
5 YS横浜	49	35	38	+3
6 相模原	150	177	181	+4
7 長野	361	402	407	+5
8 富山	370	365	372	+7
9 藤枝	99	121	144	+23
10 沼津	-	-	166	-
11 鳥取	207	213	233	+20
12 北九州	328	384	384	0
13 鹿児島	-	252	261	+9
14 琉球	135	39	65	+26
合計	2,669	2,884	3,044	+160

※ J1・J2・J3の所属は、2017シーズンのものである。【凡例】   : J1所属   : J2所属   : J3所属

※ 長崎は2017年度の決算期変更に伴い、当事業年度は11ヶ月となっている。

※ J3合計および総合計には沼津は含まれていない。

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

※ 上表の★印は3月決算クラブ。

# 3-3. 入場料収入の推移

## 2017-2016年度比較（53クラブ※沼津を除く）増収25クラブ、減収25クラブ 前年比約10億円の入場料収入が増加

【J1】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 札幌	424	457	622	+165
2 仙台	660	608	619	+11
3 鹿島	788	869	894	+25
4 浦和	2,174	2,375	2,337	▲38
5 大宮	315	398	397	▲1
6 柏	518	435	554	+119
7 FC東京	966	961	1,026	+65
8 川崎F	777	907	1,038	+131
9 横浜FM	948	1,005	1,018	+13
10 甲府	354	342	353	+11
11 新潟	711	679	629	▲50
12 清水	551	494	625	+131
13 磐田	396	474	615	+141
14 G大阪	795	1,390	1,266	▲124
15 C大阪	464	510	839	+329
16 神戸	425	427	514	+87
17 広島	638	563	496	▲67
18 鳥栖	576	553	631	+78
合計	12,480	13,447	14,473	+1,026

【J2】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 山形	281	182	172	▲10
2 水戸	81	86	83	▲3
3 群馬	71	75	67	▲8
4 千葉	360	333	337	+4
5 東京V	204	164	186	+22
6 町田	55	92	94	+2
7 横浜FC	156	150	171	+21
8 湘南	335	331	240	▲91
9 松本	597	528	494	▲34
10 金沢	74	70	60	▲10
11 名古屋	727	761	824	+63
12 岐阜	131	128	111	▲17
13 京都	193	200	205	+5
14 岡山	176	200	190	▲10
15 山口	92	220	204	▲16
16 讃岐	99	107	87	▲20
17 徳島	145	125	136	+11
18 愛媛	67	78	74	▲4
19 福岡	235	275	190	▲85
20 長崎	94	74	115	+41
21 熊本	119	135	111	▲24
22 大分	245	157	250	+93
合計	4,537	4,471	4,401	▲70

【J3】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 盛岡	10	10	13	+3
2 秋田	14	12	16	+4
3 福島	16	12	12	0
4 栃木	128	66	59	▲7
5 YS横浜	10	14	14	0
6 相模原	32	35	26	▲9
7 長野	96	73	59	▲14
8 富山	47	37	34	▲3
9 藤枝	9	7	7	0
10 沼津	-	-	22	-
11 鳥取	47	40	33	▲7
12 北九州	82	80	124	+44
13 鹿児島	-	27	21	▲6
14 琉球	10	10	5	▲5
合計	501	423	423	0

※ J3は、ホームゲーム数が19 or 20試合（2015年度）から15試合（2016年度）に減少している。

※ J1・J2・J3の所属は、2017シーズンのものである。【凡例】  : J1所属  : J2所属  : J3所属

※ 長崎は2017年度の決算期変更に伴い、当事業年度は11ヶ月となっている。

※ J3合計および総合計には沼津は含まれていない。

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

※ 上表の★印は3月決算クラブ。

# 3-4. チーム人件費の推移

**2017-2016年度比較（53クラブ※沼津を除く）増加40クラブ、減少11クラブ**  
**前年比約73億円のチーム人件費が増加**  
**3月決算クラブ全てのクラブでチーム人件費が増加**

【J1】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 札幌	550	703	1,206	+503
2 仙台	1,031	1,187	1,165	▲22
3 鹿島	2,023	1,929	2,382	+453
4 浦和	2,099	2,381	2,644	+263
5 大宮	1,360	1,411	1,792	+381
6 柏	1,888	1,753	2,308	+555
7 FC東京	1,641	2,025	2,010	▲15
8 川崎F	1,685	1,643	2,339	+696
9 横浜FM	1,860	1,966	2,118	+152
10 甲府	736	736	883	+147
11 新潟	1,138	1,220	1,227	+7
12 清水	1,526	1,473	1,680	+207
13 磐田	1,263	1,378	1,553	+175
14 G大阪	1,956	1,900	2,212	+312
15 C大阪	1,523	1,494	2,334	+840
16 神戸	1,767	2,068	3,104	+1,036
17 広島	1,809	1,553	1,602	+49
18 鳥栖	1,105	1,476	1,899	+423
合計	26,960	28,296	34,458	+6,162

総計	39,981	42,309	49,586	+7,277
----	--------	--------	--------	--------

【J2】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 山形	503	429	438	+9
2 水戸	249	262	261	▲1
3 群馬	202	228	292	+64
4 千葉	1,045	899	1,177	+278
5 東京V	377	436	572	+136
6 町田	150	189	228	+39
7 横浜FC	424	464	533	+69
8 湘南	699	798	774	▲24
9 松本	821	863	956	+93
10 金沢	237	296	309	+13
11 名古屋	2,086	1,984	1,843	▲141
12 岐阜	468	419	316	▲103
13 京都	796	965	852	▲113
14 岡山	509	568	638	+70
15 山口	90	231	399	+168
16 讃岐	239	287	345	+58
17 徳島	684	731	814	+83
18 愛媛	267	306	316	+10
19 福岡	626	937	1,000	+63
20 長崎	348	322	494	+172
21 熊本	302	315	354	+39
22 大分	366	266	367	+101
合計	11,488	12,195	13,278	+1,083

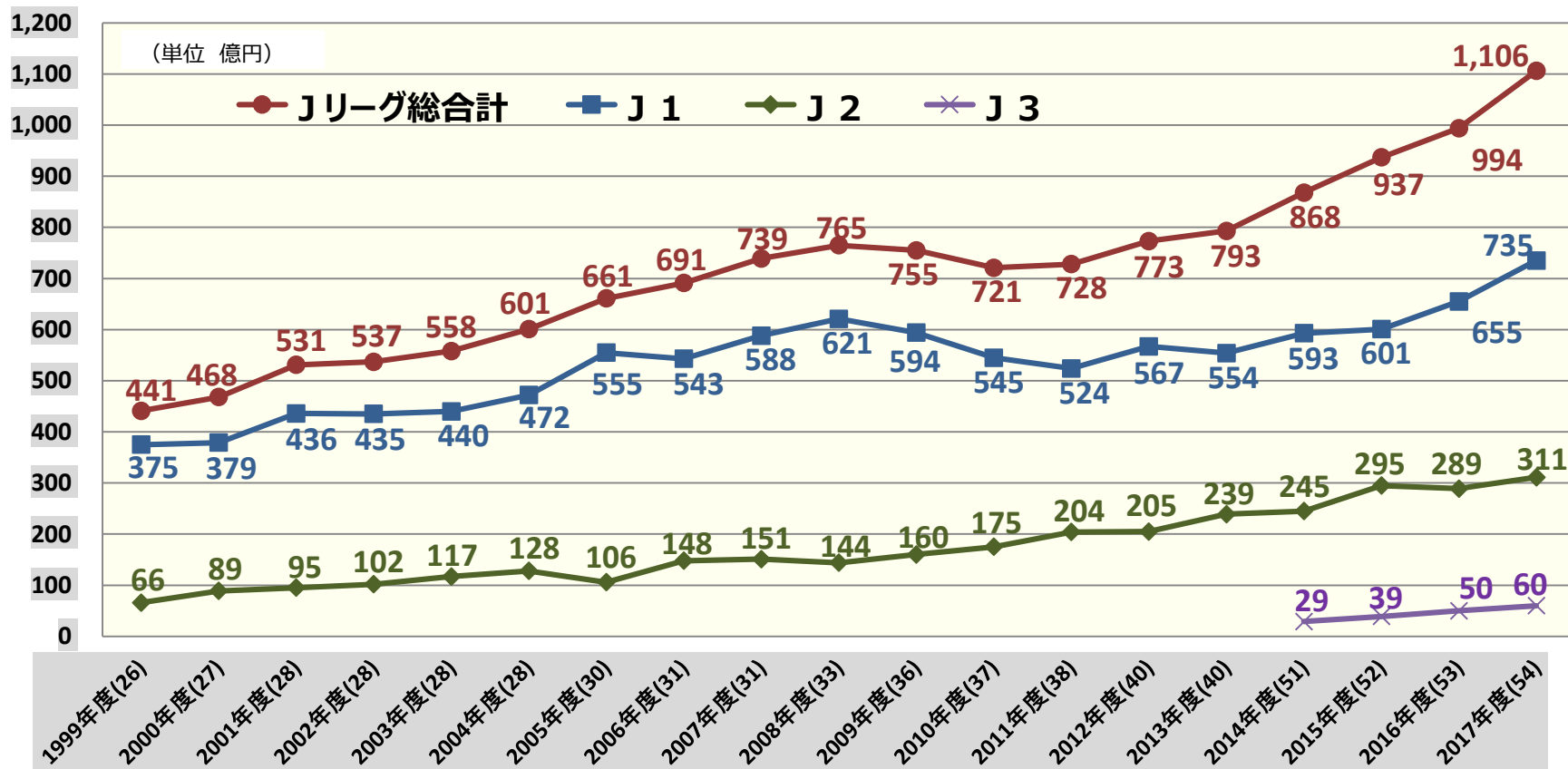
【J3】 (百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
1 盛岡	88	87	87	0
2 秋田	82	94	114	+20
3 福島	97	120	119	▲1
4 栃木	284	228	229	+1
5 YS横浜	18	17	30	+13
6 相模原	70	80	92	+12
7 長野	214	281	281	0
8 富山	198	191	200	+9
9 藤枝	23	32	59	+27
10 沼津	-	-	100	-
11 鳥取	100	142	112	▲30
12 北九州	283	343	308	▲35
13 鹿児島	-	119	138	+19
14 琉球	76	84	81	▲3
合計	1,533	1,818	1,850	+32

- ※ J1・J2・J3の所属は、2017シーズンのもので、【凡例】  : J1所属  : J2所属  : J3所属
- ※ 長崎は2017年度の決算期変更に伴い、当事業年度は11ヶ月となっている。
- ※ J3合計および総計には沼津は含まれていない。
- ※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。
- ※ 上表の★印は3月決算クラブ。

# 4 - 1. 営業収益(売上高)合計値の推移

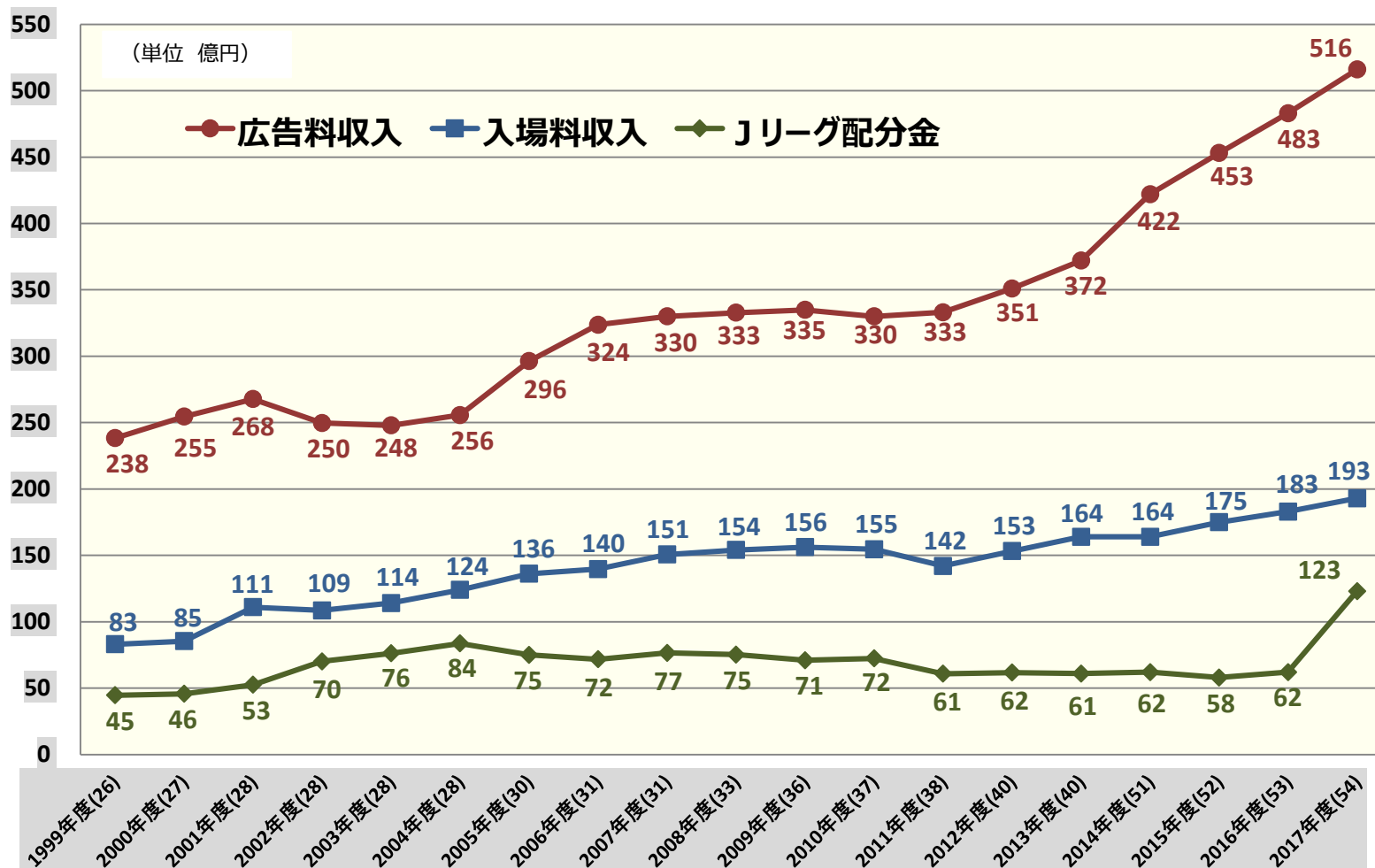
・ 54クラブの収益の総合計は、過去最高の約1,106億円



( )内はクラブ数

## 4 - 2. 営業収益主要項目の推移

### ・ 広告料収入、リーグ配分金が大きく増加となった



※2010年度以前のリーグ配分金には、賞金が含まれている。

※2017年度リーグ決算発表における配分金の公表数値とは、リーグとクラブとの決算月のずれ等によって差異が生じている。

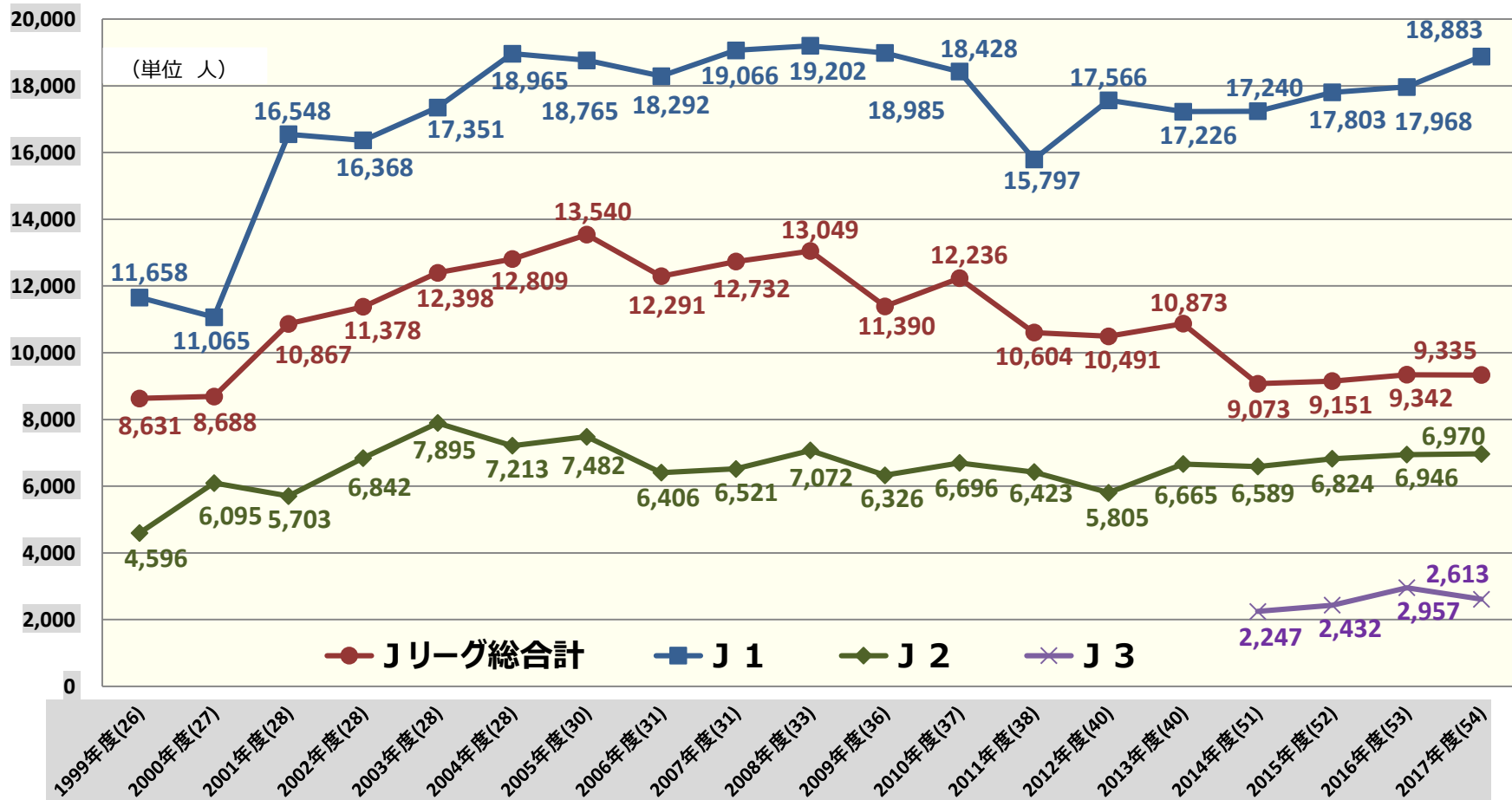
( )内はクラブ数



# 4 - 3. 1試合当たりの平均入場者数(リーグ戦のみ)の推移



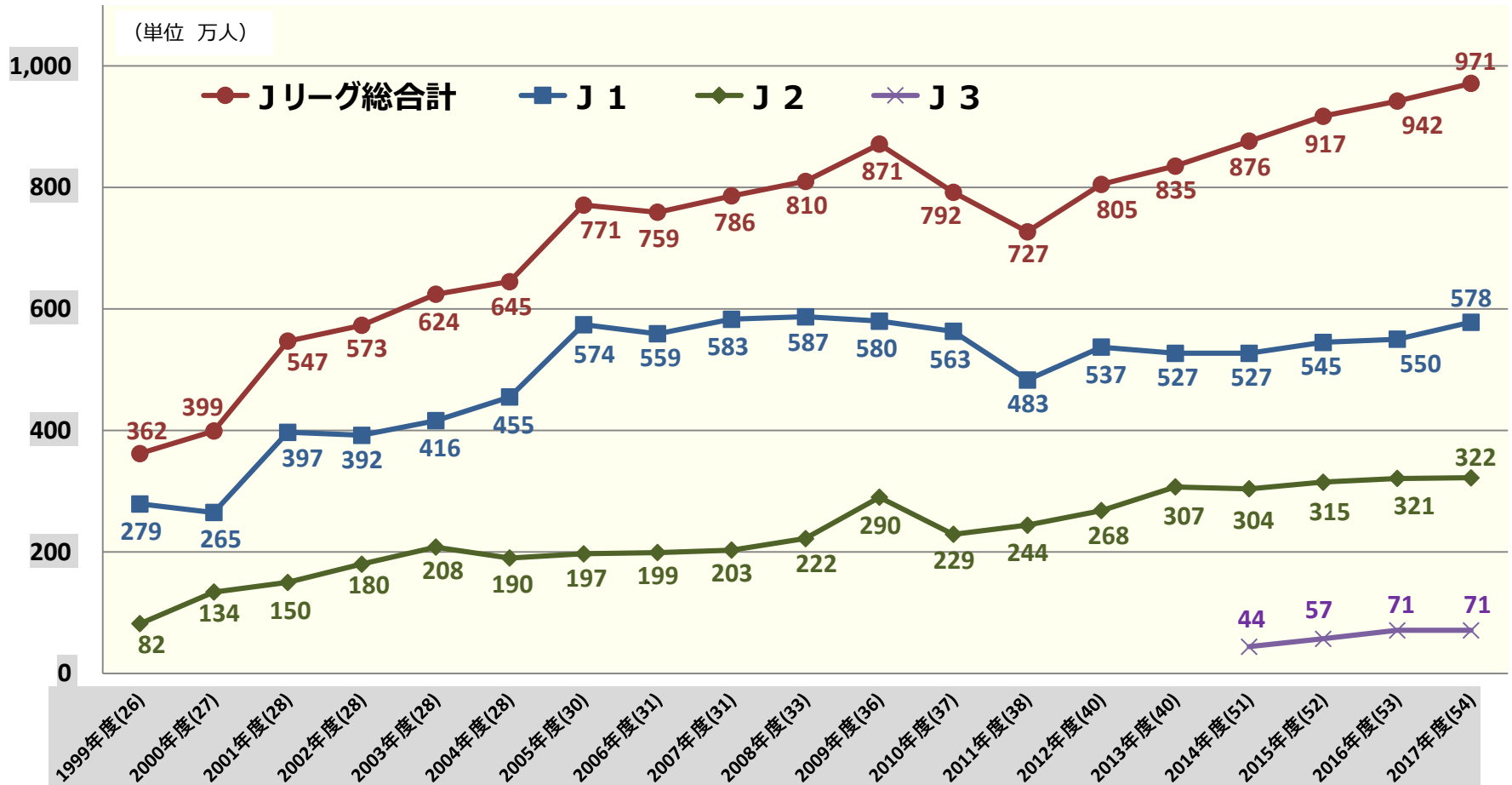
- ・ J1・J2・J3全体の平均入場者数（リーグ総合計）は、比較的経営規模の小さいJ3クラブが新入会しクラブ数が増加していることもあり、前年より減少しているものの、J1では915人、J2では24人増加している。



( )内はクラブ数

# 4-4. リーグ戦総入場者数の推移

・リーグ戦（J1・J2・J3）の総入場者数は 9,708,735人（前年比 +291,822人）



※なお、天皇杯を除く、リーグおよびクラブ主管公式試合（AFCチャンピオンズリーグのホーム開催時を含む）の2017年度総入場者数は、10,789,107人（前年比 +470,272人）

( )内はクラブ数

# 5 - 1. 「赤字」と「債務超過」の違い

## 1. 損益総括

(百万円)

	金額
営業収益	791
広告料収入	418
入場料収入	131
Jリーグ配分金	96
アカデミー関連収入	29
物販収入	45
その他収入	72
営業費用	907
チーム人件費	338
試合関連経費	92
トップチーム運営経費	143
アカデミー運営経費	30
女子チーム運営経費	0
物販関連費	31
販売費および一般管理費	273
営業利益	▲ 116
経常利益	▲ 115
税引前当期利益	▲ 115
法人税および住民税等	1
当期純利益（損失）	▲ 116

## 2. 貸借対照表

(百万円)

	金額
流動資産	119
固定資産	40
資産の部 合計	159
流動負債	211
固定負債	4
負債の部 合計	215
資本金	285
資本剰余金	85
利益剰余金	▲ 426
資本（純資産）の部 合計	▲ 56

} 出資や増資等で得た資金はここにカウント  
 →これまでの黒字（赤字）の累積  
 →ここがマイナスなら「債務超過」

債務超過を解消する = （純資産を0以上にする）方法

- (1) 資本金を増やす  
→ 増資の実行（資本金を出す人を募る）
- (2) 利益剰余金を増やす（マイナスを消す）  
→ 当期純利益を出す
  - 費用を削減して利益を出す  
（チーム人件費、試合運営費、etc.）
  - 収入を増やして利益を出す  
（広告料、入場料、etc.）

したがって左のクラブの場合、債務超過解消には、

- ① 5,600万円以上の増資
- ② 5,600万円以上の当期純利益
- ③ 増資と利益の合計が5,600万円以上のいずれかの手段を取らなければならない。

## 5 - 2 . 財務基準 3期連続赤字禁止ルールの変更

### 【Jリーグクラブライセンス交付規則運用細則】

#### 改訂前（2017年申請）

規則番号： F.01 等級： A

年次財務諸表（監査済み）

（抜粋）

#### 3. 判定

判定は、原則としてライセンス申請者の個別財務諸表で行うものとする。ただし、第3項第2号に該当する場合には、この限りではない。

（中略）

(2)提出された財務諸表に基づいて審査を行い、以下のいずれかに該当する場合は基準F.01を満たさないものとする。

①3期連続で当期純損失を計上した場合

②ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである（債務超過である）場合

③Jリーグからの指摘に基づき、過年度の決算の修正が必要となった場合において、過年度の決算を修正した結果、前2号に示す事態となった場合

（後略）

#### 現行（2018年申請）

規則番号： F.01 等級： A

年次財務諸表（監査済み）

（抜粋）

#### 3. 判定

判定は、原則としてライセンス申請者の個別財務諸表で行うものとする。ただし、第3項第2号に該当する場合には、この限りではない。

（中略）

(2)提出された財務諸表に基づいて審査を行い、以下のいずれかに該当する場合は基準F.01を満たさないものとする。

①3期**以上**連続で当期純損失を計上した場合 **（ただし、ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在の純資産残高がライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度の当期純損失の額の絶対値を上回っている場合は本項目に該当しないものとみなす）**

②ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである（債務超過である）場合

③Jリーグからの指摘に基づき、過年度の決算の修正が必要となった場合において、過年度の決算を修正した結果、前2号に示す事態となった場合

（後略）

※上記は、2018年より既に運用が開始されております。

ご不明な点、ご質問、さらなる取材ご依頼の方は、  
Jリーグ広報部までお問い合わせください。

Jリーグ 広報部      T E L : 03-3830-1866

本資料の利用は、他の方法によって入手された情報とも照合・確認し、  
利用者の判断によって行ってください。